

ちょっとした工夫がはじめの一歩

(財)東京YWCA 副会長
(財)市民防災研究所 理事
池上 三喜子

勘違いを修正し、死傷者を出さない工夫を

- ・ 地震:激しい揺れの時には、あれもこれもできない。身を守ることで精一杯。揺れているときに動き回ると怪我をする確率が高い。
- ・ 水害:水害のときの避難所は、地震のときの避難所と同じとは限らない。
- ・ 火災:家庭用消火器の放射時間は、約15～18秒ということを知っていて欲しい。

命を守る仕掛け作り

- ・ 東京消防庁:家具類の転倒・落下防止対策推進委員会の取り組み
- ・ 東京消防庁:防火防災功労賞の授与
- ・ 国分寺市:わが家の耐震診断講習会
- ・ 東京災害ボランティアネットワーク:帰宅困難者対策訓練

21世紀の防災は学校教育にあり

- ・ 酒田市消防組合消防本部:幼稚園児による『防災演技』
- ・ (社)日本損害保険協会:小学生による『ぼうさい探検隊』
- ・ 宮城県松島町立松島中学校『防災学習グループきんとうん』の中学生から大人へ防災マッププレゼント
- ・ 兵庫県立舞子高校環境防災科の取り組み:防災紙芝居『稲むらの火』
- ・ 富士常葉大学の防災研究会の取り組み:小・中・高校での総合学習の時間を使った防災実習の補助(主に、ほのぼのあかりや防災授業を実施)

私たち市民のひとりひとりが、震災や火災から生命と暮らしを守るため、身のまわりを見直して工夫と実行を

- ・ 市民防災研究所:ほのぼのあかり、卓上コンロ、投てき水パック、けむりフード
- ・ 東京YWCA国領センター:ティーポットサロンでの防災講話
- ・ 東京YWCA板橋センター:シニアのための食事会での防災講話